令和5年度民間ネット調査報告書
男女共同参画に関する調査

大阪市

目 次

I. 調査の概要	1
調査の目的	1
調査の内容	1
調査設計	1
報告書を読む際の留意点	1
II. 調査結果の分析	2

I. 調査の概要

調査の目的

大阪市では、男女がともにその個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、大阪市男女共同参画推進条例に基づく「大阪市男女共同参画基本計画～第3次大阪市男女きらめき計画～」(令和3年度～令和7年度)に沿って、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

この調査は、今後本市が取り組むべき施策の参考とするため、男女共同参画に関する意識等についてお伺いするために実施しました。

調査の内容

男女共同参画について

調査設計

- (1) 調査対象：大阪市に居住している18歳以上の大阪市住民
- (2) 標本数：500標本
- (3) 調査方法：インターネットを利用したウェブアンケート調査
- (4) 調査期間：令和6年1月12日(金)～令和6年1月16日(火)
- (5) 調査実施機関：株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

報告書を読む際の留意点

(1) 質問文・選択肢等

本文中の質問文及び選択肢などについて、長い文章については簡略化して用いる場合があります。

(2) 数値結果

数値(%)は、各実数をもとに比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。したがって、内訳の合計が全体の合計(100%)と一致しないことがあります。また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

(3) 標本構成・調査結果

標本構成及び調査結果の詳細については、「令和5年度民間ネット調査結果(資料)」に掲載しています。

Ⅱ. 調査結果の分析

Q 1

男女平等を基本として、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる社会を「男女共同参画社会」と言いますが、現状、あなたは社会全体で男女が平等であると思われますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 男性の方が非常に優遇されている (7.2%)
- 2 どちらかといえば男性の方が優遇されている (23.8%)
- 3 平等である (20.4%)
- 4 どちらかといえば女性の方が優遇されている (7.4%)
- 5 女性の方が非常に優遇されている (5.4%)
- 6 わからない (35.8%)

【全体】

男性の方が優遇されていると答えた人の割合は「1 非常に」「2 どちらかといえば」を合わせて31.0%に対し、女性の方が優遇されていると答えた人の割合は「5 非常に」「4 どちらかといえば」を合わせて12.8%となっています。

Q 2

あなたは、「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方についてどうと思われますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 そう思う (5.8%)
- 2 どちらかといえばそう思う (17.0%)
- 3 どちらかといえばそう思わない (24.6%)
- 4 そう思わない (30.2%)
- 5 わからない (22.4%)

【全体】

「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方について、「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」を合わせて22.8%となっています。

Q 3

あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についてご存じですか。ワーク・ライフ・バランスは個人の働き方や企業の制度を見直すことで、性別、年齢、婚姻の有無に関わらず、仕事と生活（育児、家事、自己啓発、地域活動への参加など）の良好なバランスをとり、「仕事」も「家庭」も「私」もより充実したものにするという考え方です。あてはまるものを1つ選択してください

- 1 ある程度内容を知っている (23.8%)
- 2 聞いたことがある (36.2%)
- 3 知らない (40.0%)

【全体】

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について、「1 ある程度内容を知っている」「2 聞いたことがある」を合わせて60.0%となっています。

Q 4

あなたは、男性について、仕事と家庭生活の関係がどのようにあるのが望ましいと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください

- 1 家庭生活よりも、仕事に専念する (3.4%)
- 2 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる (18.0%)
- 3 仕事と家庭生活を同じように両立させる (32.8%)
- 4 仕事にも携わるが、家庭生活を優先させる (12.4%)
- 5 仕事よりも、家庭生活に専念する (7.2%)
- 6 わからない (25.6%)
- 7 その他 (0.6%)

【全体】

男性は、「1 家庭生活よりも、仕事に専念」もしくは「2 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる」方が望ましいと答えた人の割合は21.4%で、「3 両立させる」方が望ましいと答えた人の割合は32.8%、反対に「5 家庭生活に専念」もしくは「4 優先させる」ほうが望ましいと答えた人の割合は19.6%にとどまっています。

Q 5

あなたは、女性について、仕事と家庭生活の関係がどのようにあるのが望ましいと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 家庭生活よりも、仕事に専念する (1.2%)
- 2 家庭生活にも携わるが、仕事を優先させる (3.6%)
- 3 仕事と家庭生活を同じように両立させる (33.0%)
- 4 仕事にも携わるが、家庭生活を優先させる (28.4%)
- 5 仕事よりも、家庭生活に専念する (9.6%)
- 6 わからない (23.8%)
- 7 その他 (0.4%)

【全体】

女性は、「5 仕事よりも家庭生活に専念」もしくは「4 仕事にも携わるが家庭生活を優先させる」方が望ましいと答えた人の割合は38.0%で、「3 両立させる」方が望ましいと答えた人の割合は33.0%、反対に「1 仕事に専念」もしくは「2 優先させる」ほうが望ましいと答えた人の割合は4.8%にとどまっています。

Q 6

あなたは、平日において1日のうちに家事にどの程度の時間を費やしていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 0分 (4.0%)
- 2 1～30分未満 (16.2%)
- 3 30～60分未満 (19.2%)
- 4 1～2時間未満 (20.2%)
- 5 2～3時間未満 (19.0%)
- 6 3～4時間未満 (10.4%)
- 7 4～5時間未満 (5.0%)
- 8 5～6時間未満 (2.4%)
- 9 6～7時間未満 (1.4%)
- 10 7～8時間未満 (0.6%)
- 11 8時間以上 (1.6%)

【全体】

家事に費やす時間は「4 1～2時間未満」と答えた人の割合が20.2%と最も高く、次いで「3 30分～60分未満」が19.2%、「5 2～3時間未満」が19.0%と続いています。

Q 7

(問6で2～11と答えた方のみ) あなたは、平日において、どの時間帯に家事に従事していますか?あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 6時以前 (7.3%)
- 2 6～8時 (28.8%)
- 3 8～10時 (21.5%)
- 4 10～12時 (17.7%)
- 5 12～14時 (15.0%)
- 6 14～16時 (11.3%)
- 7 16～18時 (25.4%)
- 8 18～20時 (45.2%)
- 9 20～22時 (37.9%)
- 10 22～24時 (13.3%)
- 11 24時以降 (4.8%)

【全体】

平日において家事に従事している時間帯は、「8 18～20時」と答えた人の割合が45.2%と最も高く、次いで「9 20～22時」が37.9%、「2 6～8時」が28.8%と続いています。

Q 8

あなたのパートナー（または家族等）は、平日において、どの時間帯に家事に従事していますか？
あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 6時以前 (3.4%)
- 2 6～8時 (16.8%)
- 3 8～10時 (13.8%)
- 4 10～12時 (12.4%)
- 5 12～14時 (8.8%)
- 6 14～16時 (9.2%)
- 7 16～18時 (15.4%)
- 8 18～20時 (22.6%)
- 9 20～22時 (19.2%)
- 10 22～24時 (8.2%)
- 11 24時以降 (2.6%)
- 12 従事していない (14.6%)
- 13 パートナー（または家族等）がいない (32.8%)

【全体】

パートナー（または家族等）が平日において家事に従事している時間帯は、「8 18～20時」と答えた人の割合が22.6%と最も高く、次いで「9 20～22時」が19.2%、「2 6～8時」が16.8%と続いています。

Q 9

（問8で1～12と答えた方のみ）あなたは、あなたのパートナー（または家族等）との家事の分担についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 満足している (27.4%)
- 2 ある程度満足している (49.7%)
- 3 やや不満である (15.8%)
- 4 不満である (7.1%)

【全体】

パートナー（または家族等）との家事の分担について感じていることは、「1 満足している」と「2 ある程度満足している」で77.1%となっています。

Q10

あなたは、平日において1日のうちに育児にどの程度の時間を費やしていますか。あてはまるものを1つ選択してください。育児の対象者がいないために育児を行う必要がない場合は「12 育児の対象者がいない」を選択してください。

- 1 0分 (3.2%)
- 2 1～30分未満 (2.0%)
- 3 30～60分未満 (4.6%)
- 4 1～2時間未満 (6.4%)
- 5 2～3時間未満 (4.8%)
- 6 3～4時間未満 (3.0%)
- 7 4～5時間未満 (1.2%)
- 8 5～6時間未満 (1.0%)
- 9 6～7時間未満 (0.4%)
- 10 7～8時間未満 (0.2%)
- 11 8時間以上 (3.4%)
- 12 育児の対象者がいない (69.8%)

【全体】

「12 育児の対象者がいない」と答えた人を除くと「4 1～2時間未満」の割合が6.4%と最も高い。

Q11

(問10で2～11と答えた方のみ) あなたは、平日において、どの時間帯に育児に従事していますか?あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 6時以前 (8.1%)
- 2 6～8時 (30.4%)
- 3 8～10時 (23.7%)
- 4 10～12時 (20.7%)
- 5 12～14時 (15.6%)
- 6 14～16時 (17.8%)
- 7 16～18時 (34.1%)
- 8 18～20時 (46.7%)
- 9 20～22時 (44.4%)
- 10 22～24時 (14.8%)
- 11 24時以降 (6.7%)

【全体】

育児に従事している時間帯は「8 18～20時」の割合が46.7%と最も高く、次いで「9 20～22時」の割合が44.4%と続いています。

Q12

(問8で1～12 (パートナーがいる) かつ、問10で1～11 (育児対象者がいる) と答えた方のみ)

あなたのパートナー (または家族等) は、平日において、どの時間帯に育児に従事していますか? あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 6時以前 (4.8%)
- 2 6～8時 (24.8%)
- 3 8～10時 (19.3%)
- 4 10～12時 (12.4%)
- 5 12～14時 (13.8%)
- 6 14～16時 (18.6%)
- 7 16～18時 (26.2%)
- 8 18～20時 (40.0%)
- 9 20～22時 (37.9%)
- 10 22～24時 (9.0%)
- 11 24時以降 (2.8%)
- 12 従事していない (14.5%)

【全体】

育児を行う必要がある人のうち、パートナー (または家族等) が育児に従事している時間帯は「8 18～20時」の割合が40.0%と最も高く、次いで「9 20～22時」の37.9%と続いています。

Q13

(問8で1～12 (パートナーがいる) かつ、問10で1～11 (育児対象者がいる) と答えた方のみ)

あなたは、あなたのパートナー (または家族等) との育児の分担についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 満足している (28.3%)
- 2 ある程度満足している (44.1%)
- 3 やや不満である (19.3%)
- 4 不満である (8.3%)

【全体】

パートナー (または家族等) との育児の分担について、「1 満足している」の割合は28.3%、「2 ある程度満足している」の割合は44.1%で、「3 やや不満である」の割合は19.3%、「4 不満である」の割合は8.3%となっています。

Q14

地域活動（町会、自治会、PTA、ボランティアなど地域の活動）についてお尋ねします。あなたは、地域活動等に参加したことがありますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 現在、参加している（10.2%）
- 2 現在、参加していないが、過去に参加したことがある（23.2%）
- 3 今まで参加したことはない（66.6%）

【全体】

地域活動に「1 現在、参加している」割合は10.2%、「2 現在は参加していないが、過去に参加したことがある」の23.2%を合わせても33.4%に留まり、6割以上の方が地域活動への参加を経験していません。

Q15

あなたは、地域活動において女性の参画が進んでいると思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 そう思う（6.4%）
- 2 どちらかといえばそう思う（20.8%）
- 3 どちらかといえばそう思わない（19.0%）
- 4 そう思わない（12.4%）
- 5 わからない（41.4%）

【全体】

地域活動において女性の参画が進んでいるかについて、「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」の割合は27.2%、「3 どちらかといえばそう思わない」または「4 そう思わない」の割合は31.4%であり、41.4%が「5 わからない」と回答しています。

Q16

あなたは、地域活動等における女性の参画の障害になると思うものは何だと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 現時点では、必要とされる知識や経験などを持つ女性が少ないこと（14.4%）
- 2 女性自身が参画を希望しないこと（21.6%）
- 3 女性が参画することを男性が希望しないこと（12.8%）
- 4 参画するのは男性中心、などの地域のしきたりや慣習が残っていること（22.2%）
- 5 女性の家事・育児・介護などの負担が大きいこと（56.0%）
- 6 その他（3.2%）

【全体】

地域活動の中で中心的な役割を担う女性を増やすときに障害になると思うものについて、「5 女性の家事・育児・介護などの負担が大きいこと」が56.0%となっています。

Q17

大阪市では、災害時における女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所運営など男女共同参画の視点からの防災・復興の取組を推進しています。
あなたは、地域防災活動において女性の参画（活動の企画段階から参加すること）が必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 そう思う (17.6%)
- 2 どちらかといえばそう思う (31.8%)
- 3 どちらかといえばそう思わない (18.0%)
- 4 そう思わない (7.4%)
- 5 わからない (25.2%)

【全体】

地域防災活動において女性の参画が必要だと思うかについて、「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」の割合は49.4%、「3 どちらかといえばそう思わない」または「4 そう思わない」の割合は25.4%となっています

Q18

大阪市は、男性と女性がともに、仕事や家庭、地域での活動に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるまちだと感じますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 とても感じる (7.8%)
- 2 少し感じる (21.6%)
- 3 あまり感じない (27.2%)
- 4 全く感じない (8.2%)
- 5 わからない (35.2%)

【全体】

感じると答えた人の割合は「1 とても」「2 少し」を合わせて29.4%なのに対して、感じないと答えた人の割合は「3 あまり」「4 全く」を合わせて35.4%で、感じないと答えた人の割合が高くなっています。

Q19

あなたは、大阪市において、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業等を「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」として認証していることを知っていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 よく知っている (5.2%)
- 2 ある程度知っている (13.8%)
- 3 聞いたことがある (15.0%)
- 4 知らない (66.0%)

【全体】

知っていると感じた人の割合は「1 よく」と「2 ある程度」を合わせ19.0%となっています。

Q20

大阪市では、女性が気軽に安心して相談ができる「女性の悩み相談」の窓口として、女性総合相談センターをクレオ大阪中央に設置しており、「仕事」「出産」「育児」「介護」など、女性が抱えるさまざまな悩みについて、女性相談員が相談に応じ、情報提供や適切なアドバイスを実施していますが、あなたはご存知ですか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 よく知っている (5.4%)
- 2 ある程度知っている (14.4%)
- 3 聞いたことがある (19.2%)
- 4 知らない (→Q23へ) (61.0%)

【全体】

「4 知らない」と答えた人の割合が61.0%と6割近くとなっています。

Q21

「女性の悩み相談」の窓口をどこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 クレオ大阪に来館した際 (14.9%)
- 2 大阪市のホームページ (45.1%)
- 3 大阪市のLINE (18.5%)
- 4 大阪市民局のフェイスブック (13.3%)
- 5 クレオ大阪のホームページ (15.4%)
- 6 市役所、区役所のポスター、チラシ (31.3%)
- 7 地下鉄駅のポスター、チラシ (13.3%)
- 8 男女共同参画情報誌「クレオ」 (8.2%)
- 9 その他 (1.5%)

【全体】

「2 大阪市のホームページ」と答えた人の割合が最も高く45.1%となっており、次いで「6 市役所、区役所のポスター、チラシ」と答えた人の割合が31.3%と続いています。

Q22

「女性の悩み相談」の窓口について、必要な事業だと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 とても必要な事業である (23.1%)
- 2 必要な事業である (36.9%)
- 3 ある程度必要な事業である (30.8%)
- 4 必要とは思わない (9.2%)

【全体】

「女性の悩み相談」を「4 必要とは思わない」割合は9.2%にとどまり、程度の違いはありますが、90.8%が必要であると思っています。

Q23

大阪市では、男性が気軽に安心して相談ができる「男性の悩み相談」の窓口をクレオ大阪子育て館に設置しており、男性が抱える「仕事」「夫婦関係」「育児」「介護」など身近な人間関係の悩み、生き方などについて、男性相談員が相談に応じていますが、あなたはご存知ですか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 よく知っている (7.4%)
- 2 ある程度知っている (10.0%)
- 3 聞いたことがある (12.8%)
- 4 知らない (69.8%)

【全体】

「4 知らない」と答えた人の割合が69.8%となっています。

Q24

「男性の悩み相談」の窓口をどこでお知りになりましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 クレオ大阪に来館した際 (13.2%)
- 2 大阪市のホームページ (43.7%)
- 3 大阪市のLINE (17.9%)
- 4 大阪市市民局のフェイスブック (19.2%)
- 5 クレオ大阪のホームページ (21.2%)
- 6 市役所、区役所のポスター、チラシ (27.8%)
- 7 地下鉄駅のポスター、チラシ (9.9%)
- 8 男女共同参画情報誌「クレオ」 (7.9%)
- 9 その他 (0.0%)

【全体】

「2 大阪市のホームページ」と答えた人の割合が最も高く43.7%となっており、次いで「6 市役所、区役所のポスター、チラシ」と答えた人の割合が27.8%と続いています。

Q25

「男性の悩み相談」の窓口について、必要な事業だと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 とても必要な事業である (18.5%)
- 2 必要な事業である (43.0%)
- 3 ある程度必要な事業である (30.5%)
- 4 必要とは思わない (7.9%)

【全体】

「男性の悩み相談」を「4 必要とは思わない」割合は7.9%にとどまり、程度の違いはありますが、92.1%が必要であると思っています。

Q26

大阪市では、女性に対するあらゆる暴力の根絶に向け、社会全体で取り組むべき課題であることへの理解を広げ、「暴力を許さない」「暴力を生まない」社会的気運を高めるよう取り組んでいます。あなたは、「なぐる、ける」というようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 どんな場合でも暴力にあたると思う (53.0%)
- 2 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う (28.0%)
- 3 暴力にあたるとは思わない (19.0%)

【全体】

「なぐる、ける」というようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思うかについて、「3 暴力にあたるとは思わない」と答えた人が19.0%となっています。

Q27

あなたは、「携帯電話のメールやSNSなどの履歴を本人の意思に反して勝手にチェックしたり、友人等のつきあいを制限する」というようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 どんな場合でも暴力にあたると思う (40.0%)
- 2 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う (39.4%)
- 3 暴力にあたるとは思わない (20.6%)

【全体】

「携帯電話のメールやSNSなどの履歴を本人の意思に反して勝手にチェックしたり、友人等のつきあいを制限する」というようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思うかについて、「1 どんな場合でも暴力にあたると思う」と答えた人が40.0%となっています。

Q28

交際中の恋人間で行われる暴力を「デートDV」といいますが、あなたはご存知ですか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 よく知っている (8.6%)
- 2 ある程度知っている (24.8%)
- 3 聞いたことはあるが、言葉の意味は知らない (18.8%)
- 4 知らない (47.8%)

【全体】

「デートDV」を知っているかについて、「4 知らない」と答えた人が47.8%と4割超となりました。

Q29

配偶者・パートナーの間での暴力にかかる相談機関・対応窓口としてご存じのものを、すべて選択してください。

- 1 大阪市配偶者暴力相談支援センター (7.8%)
- 2 クレオ大阪女性総合相談センター (9.2%)
- 3 各区保健福祉センター (13.0%)
- 4 大阪府女性相談センター (14.4%)
- 5 警察署、交番 (40.6%)
- 6 シェルターなどの民間の相談機関 (15.0%)
- 7 知らない (40.6%)

【全体】

配偶者・パートナーの間での暴力にかかる相談機関・対応窓口として、「5 警察署、交番」と答えた割合は40.6%となっている一方、「1 大阪市配偶者暴力相談支援センター」と答えた人は7.8%にとどまっています。

Q30

性暴力被害についての相談機関・対応窓口として「SACHIKO性暴力救援センター・大阪」がありますが、あなたはご存知ですか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 よく知っている (4.8%)
- 2 ある程度知っている (7.4%)
- 3 聞いたことがある (12.8%)
- 4 知らない (75.0%)

【全体】

「SACHIKO性暴力救援センター・大阪」を知っているかについて、「4 知らない」と答えた人が75.0%と7割超となりました。